

## 令和6年度 外郭団体 概要・評価シート

### 1. 基本情報

団体名	一般財団法人 静岡市動物園協会			所管課	日本平動物園				
所在地	静岡市駿河区池田1767番地の6	代表者	理事長 赤堀 文宣	設立年月日	昭和44年3月20日				
基本財産	10,000千円	市出資額 (基本財産等に占める割合)		5,000千円 (50%)					
設立根拠	一般社団法人及び一般財団法人に関する法律								
設立目的	非営利の一般財団法人として静岡市及び関係諸団体との協働及び連携により動物園事業の発展振興を図り、併せて動物の愛護思想を普及することにより、地域社会の健全な発展に寄与し、豊かな人間性を涵養することを目的とする。								
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動物愛護運動及び教育普及事業の推進</li> <li>・動物園の広報事業及びイベント事業</li> <li>・動物園附帯事業の経営及び受託</li> <li>・動物園等における物品及び飲食物販売事業</li> </ul>								

### 2 経営計画書の取組状況

#### (1) 取組実績

(令和6年度)

1	施策名称	評価指標	目標値	実績	備考
	愛護教育・環境教育の推進	教育普及事業・ツアーガイド等の実施数	58回	67回	
		ふれあい動物園の支援回数	115回	116回	
		ボランティア登録人数	100人以上	175人	
主要取組名称		事業概要			備考
教育普及事業・ツアーガイド等の実施		目指せ！動物園博士、動物園親子教室、ツアーガイド等			
ふれあい動物園の支援		小動物とのふれあいを飼育員、ボランティアと協働で実施（土・日・祝）			
ガイドボランティアの育成・支援		教育普及事業の業務委託、補助金の支出			
団体意見		教育普及事業・ツアーガイド等及びふれあい動物園の支援いずれも目標値を上回り、ボランティアの登録数も目標値を大きく超えた。しかし、ボランティアに関しては、各世代にまんべんなく登録者がいる一方、実働は50代から70代が中心となっており、若年ボランティアの活動への参加促進及び定着が課題となっている。			
関係課意見		愛護教育・環境教育の強化のため、公益事業である「教育普及事業」全体の継続的かつ積極的な取組みを期待する。また、ボランティア組織への活動支援も継続的に実施されたい。			

	施策名称	評価指標	目標値	実績	備考
2	園内管理に係る包括委託業務	管理施設での管理者の責めに帰する事故発生件数	0件	0回	
		遊園地の満足度	80%	83%	
		トイレ・休憩所・授乳室等の満足度	90%	93%	
2	主要取組名称	事業概要			備考
	駐車場への誘導および管理	来園者の状況に応じ各駐車場へ誘導、駐車施設の保全管理、料金の徴収			
	遊戯施設の運転管理	遊具、施設及び遊歩道の保全管理、料金の徴収			
	園内清掃の実施	園路、広場、施設、休憩所、トイレ等の清掃、定期的なワックスかけ			
	団体意見	管理施設における事故は0件、また、遊園地及びトイレ・休憩所・授乳室等の満足度も目標値を達成し、来園者に安全、快適なサービスを提供できたと考えている。今後も、日常の仕業点検及び月例点検を確実に実施するとともに、軽微な補修、修繕の迅速な実施などの確な施設の維持・保全に努めていく。			
	関係課意見	開園以来、園内管理業務を担ってきたノウハウを今後も余すことなく発揮し、引き続き来園者目線に立った親切丁寧な質の高いサービスの提供に努めていただきたい。			

	施策名称	評価指標	目標値	実績	備考
3	魅力ある物販・飲食サービスの提供	売店・お土産等の満足度	90%	90%	
		食品に係る事故や異物混入の発生件数	0件	0件	
		新商品開発やサービス導入件数	8件	24件	
3	主要取組名称	事業概要			備考
	販売事業	園内5か所の売店の運営とネット販売			
	食堂事業	レストハウスの運営（R7年1月にしろくまキッチンにリニューアル）			
	移動販売車事業	園内にキッチンカーを配置し、軽食を販売（土日祝）			
	団体意見	新商品・メニューの開発や土日祝のキッチンカーの配置により、多彩なサービスを提供することができ、お客様の満足度90%を達成することができた。なお、令和7年1月にレストハウスを「しろくまキッチン」としてリニューアルすることで食堂への来店率向上、売上の増加等の効果が表れており、更なるサービス向上により満足度アップを図っていく。			
	関係課意見	土産物や食事メニューの充実は、来園者が望むサービスのひとつでもあることから、商品開発の推進やラインナップの見直しなどを行い、さらなる満足度及び収益の向上に繋がる取組を推進していただきたい。			

## （2）施策や取組実施に係る現状分析・課題

上記に掲げた経営計画上の評価指標については、いずれも達成することができたが、収益事業の総売上額については、令和6年度の目標値169,450千円に対し、162,201千円と達成することができなかった。これは、近年の少子化や温暖化による来園者の減少（令和6年度は対前年度比約4.0%の減少）が一つの要因と考えられることから、園の魅力向上、情報発信の強化等来園者増加のための取組みを推進していく必要がある。

## （3）分析結果や課題を踏まえた対応方針

- ①マーケティングの強化により来園者（将来の来園者を含む。）の商品、サービスに対するニーズを的確に把握する。
- ②SNSを活用した広報を強化することにより、来園を促進する。
- ③新商品、新サービスの質的・量的拡大を図り、園の魅力、来園者満足度の向上を図る。
- ④ネット販売の強化により、新たな販路の拡大を図る。

### 3 団体の財務・人員の状況

#### (1) 収支状況（千円）

区分		R4年度決算	R5年度決算	R6年度決算	備 考
収入	事業収入	351, 115	347, 068	347, 895	
	事業外収入	22	0	0	
	その他	0	0	0	
	合 計	351, 137	347, 068	347, 895	
(委託・補助等静岡市からの収入総額)		177, 650	177, 299	183, 308	※千円未満切捨
支出	事業支出	338, 045	332, 088	341, 596	
	事業外支出	0	0	0	
	その他	1, 622	3, 588	1, 313	
	合 計	339, 667	335, 676	342, 909	
収支差		11, 470	11, 392	4, 986	

#### (2) 資産の状況（千円）

区分		R4年度決算	R5年度決算	R6年度決算	備 考
資産	固定資産	123, 277	124, 948	120, 864	
	流動資産	132, 099	129, 655	131, 068	
	合 計	255, 376	254, 603	251, 932	
負債	固定負債	72, 776	65, 427	60, 314	
	流動負債	47, 650	42, 834	40, 291	
	合 計	120, 426	108, 261	100, 605	
正味財産	基本財産／資本金	10, 000	10, 000	10, 000	
	剰余金等	124, 950	136, 342	141, 328	
	合 計	134, 950	146, 342	151, 328	

#### (3) 役員・職員の状況

##### ア 役員数（人）(R7. 4. 1)

	評議員		理事		
	内市退職者・派遣	内市退職者・派遣	内市退職者・派遣	内市退職者・派遣	
常勤	0	0	1	1	
非常勤	7	0	6	0	
合計	7	0	7	1	

##### イ 職員数

	正規職員	非正規職員	市退職者・市派遣	合計	増減員理由等
R5	15	18	2	35	オートチエア等「休止」により、業務第1係の人員定数を削減した為
R6	15	22	2	39	オートチエア等「再開」により、業務第1係の人員定数を削減した為
R7	15	19	1	35	オートチエア等「休止」により、業務第1係の人員定数を削減した為

※4月1日時点

## （4）財政・人員体制の現状分析・課題

（収支）前年度に引き続き黒字を確保できているものの、その黒字額は前年度に比べ減少した。これは、収益が横這いの一方、支出額が増加した為である。  
（財産・資産）的確な管理を行っており、顕著な増減とはなっていない。  
（人員体制）受託事業を中心として効率的な人員配置により業務を遂行しているが、人員配置がぎりぎりとなっており、退職者がいないと新規に正規職員を募集しにくい状況にある。このため、人事管理、財務会計処理等に携わる職員が固定化し、後任の育成が課題となっている。また、現場の業務に人を割かざるを得ないため、収益の増加や公益業務の推進などの企画的業務に人が配置できないことも課題である。

## （5）分析結果や課題を踏まえた団体における財政・人員体制の見通しと今後の取組

（収支）業務の効率化、業務配分の見直し、物価高騰に応じた適正価格の設定や客単価の向上などに取り組むことで、一層の経費の削減、収支の改善を進めていく。  
（財産・資産）今後も引き続き財産・資産の的確な管理に努める。  
（人員体制）管理的・企画的業務に素養のある職員の確保と育成に取組み、時代の変化に応じた新たな取り組みを積極的に推進していく体制を整える。

## 4 全体総括・評価

### 外郭団体

経営計画上の目標はほぼ達成できているが、来園者の減少に伴う収益事業の売上げの減少、これによる収支の悪化がみられる。このため、従来の取組みに加えて、他園で効果を上げた好取組みなどを研究し、世の中の変化に応じた新たな施策の導入に取り組み、安定的な協会の運営を実現していきたい。

### 静岡市

各取組みの施策における目標値はほぼ達成しており、入園者数が減少傾向にある中、経費節減等により収支を黒字としていることは評価できる。今後も収益確保に向けた継続的なサービスの提供及び向上を期待する。また、これまで培ってきた管理運営業務のノウハウを余すことなく発揮していただきたい。

## 5 市への要望・意見（外郭団体記載）

当協会は、動物園の来園者の増減が経営に直結することから、近年の来園者の漸減傾向は非常に憂慮すべき課題で、リピーターの確保に加え、新たな来園者の開拓が最重要課題であると考えている。このためには、協会と動物園との連携・協働を今まで以上に進めていく必要があるので、実現に向け引き続き協力をお願いしたい。

また、園内施設の老朽化に対しても可能な限りの予算確保と迅速な対応をお願いしたい。

加えて、近年の異常気象の頻発し、園内施設への浸水や駐車場への土砂の流入など、協会では対応困難な自体が発生していることから、これらへのより効果的な対策を検討願いたい。

## 6 外郭団体への要望・意見（所管課記載）

委託業務について、来園者が快適に過ごせるよう日々努めているが、柔軟な人員配置等により混雑時においても、来園者がスムーズに入園でき、快適で安心安全に過ごせるよう引き続き取り組んでいただきたい。

定款に謳う公益事業の更なる実施、拡充を図り、教育普及事業を推進していただきたい。

収益事業の強化を図り、経営基盤の安定化に努めていただきたい。